令和４年度　　創立１４８年　　９．２８発行

もっとも

南種子町立西野小学校
学校だより　９月号
http://m-nishino.sakura.ne.jp

希望の実現

校長　霜田　さおり

はじめに

大型の台風１４号の被害に皆様に，心よりお見舞い申し上げます。

学校でも，全力を挙げて練習してきた運動会を，実施日とプログラムの一部を変更せざるをえない状況ではありましたが，２０日（火）になんとか実施させていただきました。そんな中で，子供たちは，それぞれのパフォーマンスに精一杯の思いを込めて演技していたことに感動しました。ゴール寸前まで勝負が分からなかった紅白リレー。苦手なことに直面して泣きそうな子を，何人もがすぐにサポートしていた様子。全力で競い，接戦の下で勝敗が決まった時の両団のすがすがしい表情。コロナ禍で，荒天というままならない環境の中で，明るく頑張っている子供たちの姿を見ながら，次の世代への「希望」を見たように思います。そして，「希望」という言葉に，魯迅（ろじん）の『故郷』という小説を思い出しました。中学時代の教科書で読んだ覚えがある人もおられることでしょうが，この話の末で，次の一説があります。

【新種目：棒引きの様子】

> 思うに希望とは，もともとあるものとも言えぬし，ないものとも言えない。それは，地上の道のようなものである。もともと地上には道はない。歩く人が多くなれば，それが道になるのだ。

言い換えると「希望は，それを願い，力を合わせて行動する人が多くなれば，その希望は実現する」ということであり，これは，作品をとおして作者が最も伝えたかったことといわれています。運動会で仲間とともに最高の瞬間をつくりたいと願う子供たち，声援を飛ばし盛り立てようと支えてくださる保護者や家族の方々，一つ一つのパフォーマンスに温かいリアクションをしてくださった来賓の方々，そして，子供たちが演技するためによりよい会場をと願い早朝から会場準備をする教職員，それぞれの願いや思いが，２０２２年度の運動会という，一本の道になったのではないかと感じます。

運動会を支えてくださった校区の方々を含め，心から感謝いたします。

がんばった運動会

台風一過の秋空の下，運動会が開催されました。子供たちは「燃えろ赤組，輝け白組，最後まであきらめない」のスローガンの下，全力で競技に取り組みました。

【開会式】

【かけっこ・短距離走】

【棒っといきてんじゃねーよ】

【西野ハリケーン】

【いつ引くの？今でしょ】

【棒踊り】

【紅白リレー】

【応援合戦】

当初の予定通りとはいきませんでしたが，子供たちのがんばりがたくさん見られた運動会でした。また，当日だけでなく，当日を迎えるまでの練習にも本当によく取り組みました。この経験をこれからの生活につなげてくれることを期待したいと思います。

保護者の皆様には，校庭の整備等の準備，当日の応援等ありがとうございました。また，地域の皆様に披露できなかったことは残念ですが，今後の行事で西野っ子たちのがんばる姿を見ていただきたいと思います。

10月の行事

３日（月）	校内読書月間（～３１日
８日（土）	土曜授業
１２日（水）	町小学校陸上記録会
１８日（火）	教育相談期間（全家庭）（～２６日）

11月の行事

１日（火）	自由参観日（～２日） 心の教育の日（道徳） 給食試食会
４日（金）	町音楽会
１２日（土）	西野フェスティバル
１７日（木）	秋の一日遠足
２１日（月）	子供・夢・アートアカデミー

心の海

キモチって　川に似てる
流れが早い日も　遅い日もある
雨が降ってあふれそうな日も
水は流れて流れて流れて
いつかは海にたどりつく

難しく考えなくてもいいのかも
水を海に流すように
口からいやなことを吐き出す
けっこうスッキリするのかも
全部心の海に　流しちゃおう

（南種子町西野小６年
山下　結衣）

６年　山下　結衣さん

８月２４日（水）
南日本新聞「子供のうた」に詩が掲載されました。